

令和2年5月19日（火） 校長先生のお話

向山小の皆さん、お元気ですか。家での生活は続いて、運動不足になっていませんか。室内でも工夫して運動することはできます。朝早い時間にお家の人とお散歩などをするのもよいですね。

今日は、「好奇心（こうきしん）」のお話です。

自分が赤ちゃんの頃を覚えている人はいるでしょうか。たぶん、いないと思います。でも、妹や弟、親せきなどの赤ちゃんを見たことはあると思います。

赤ちゃんは、生まれたときは、目を閉じて、泣き声を上げて、ミルクを飲んで寝ているばかりでした。生まれて6カ月ごろになると、寝返りをし、ぬいぐるみなどをつかむようになります。やがて、両手で体を支え、両足をけるようにしてほしいものに向かって突進するようになってきます。動くもの、目につくものに触ってみたいという「好奇心」があるのです。

ある人の子供のころのお話。小学校3年生のとき、家にある時計の針を見て、なぜ動くのだろうと好奇心をもち、ドライバーを使って分解してみたそうです。分解してみると動く仕組みが分かったそうです。その仕組みは、電池でモーターを動かし、うず巻きバネをまき、バネが戻る力で歯車を回し、秒針、分針、時針を順番に回すのです。その仕組みが分かったとき、その人は満足して、幸せな気持ちになったそうです。

さて、地球や人間はどうやってできたのでしょうか？世界中の科学者が、好奇心をもってチャレンジしています。その中の一つが、日本の「はやぶさ2」です。はやぶさ2は、今から6年前に小惑星リュウグウを目指して地球から打ち上げられて、2年前の6月に到着しました。その後着陸して、リュウグウの石や砂などを取り込みました。この石や砂には、46億年前の水や有機物が今でも残されていると考えられています。地球に持ち帰って、分析・研究をすることで、地球や人間はどうやってできたのか、調べることができるそうです。はやぶさ2は今年の年末までに地球に帰ってくる予定です。楽しみです。

人間は赤ちゃんの頃から、好奇心をもち、チャレンジしているのです。みなさんもきっと、「ふしぎだな。」「詳しく知りたいな。」「どうなっているのだろう。」という気持ちを持っていると思います。それが好奇心です。

今、皆さんはどんなことに好奇心をもっていますか。その好奇心を大切に、人に聞いたり、自分で調べたり、実際にやってみたりしてみましょう。

お話は、これで終わりです。

昨日、ホームページに今週の課題をアップしました。3年生から6年生は算数のプリントもホームページにアップしています。時間割に沿って、学習を進めてくださいね。

また、担任の先生たちや専科の先生たちが、ホームページで皆さんに、メッセージを送っています。1週間に2回ぐらい、新しいメッセージがのりますので、楽しみに見てください。

では、今週も1週間、健康で安全な生活を送ってください。